

読書活動に関わる方
はじめての方に

2017年

11月11日 土

10:00 - 16:45 ※展示は図書館開館時間内
(9:30~17:00)

読む・知る・つながる
— 読書との出会い —

横浜市読書活動推進 ネットワークフォーラム

入場
無料

会場 横浜市中区中央図書館
(横浜市西区老松町1)

※1階 展示コーナー、地下ホール、地下ホールホワイエ等で実施

申込方法

10月11日(水) 9:00から



横浜市ホームページ
簡易申請システムで
受付開始【先着順】

▲スマートフォン用 ▲携帯電話用

※1回の申請で、お1人1プログラムずつお受けします。
※複数のプログラムへ参加を希望する場合には、再度申請してください。
※手話通訳または筆記通訳(ノートテイク)を希望の方は申請時にお申込みください。

事前申込に関する問合せ先: 教育委員会事務局生涯学習文化財課
TEL.045-671-3283 (受付時間: 月~金曜日の8:45~17:15 ※祝日を除く)

学校図書館
活用講座

「科学読み物を子どもたちに！」

地下ホール 10:00~11:30

先着150名

子どもたちに、科学の本も紹介したい! そんなときどんな本を選んだらよいのでしょうか。
科学の本の魅力と子どもへの紹介の仕方をお話します。



▶「かがやく昆虫のひみつ」
(中瀬 悠太/著、内村 尚志/絵、
野村 周平/監修、ポプラ社)



▲「手のひら図鑑 宇宙」
(ジャクリン・シモン/監修、
伊藤 伸子/訳、化学同人)

【講師】科学読物研究会 金澤 磨樹子さん

科学読物研究会会員。三鷹市立小学校に17年間、学校司書として勤務し昨年度から学芸大学附属世田谷小学校の司書として勤務。

<科学読物研究会とは>

子どもたちの科学読物を読み、その普及につなげようとする科学者である吉村 証子(故人)の呼びかけで1968年に発足した会。子どもたちに科学の本に親しんでもらうために様々な活動を行っている。会員は、子どもを持つ親、文庫関係者、図書館員、教員、作家、画家、編集者など子どもたちへ本を手渡す人から作り手まで全国に会員がいる。

基調講演

「子どもたちとの読書活動 ~広く深く長くつなげていくために~」

地下ホール 13:00~14:00

先着150名

「子どもと読書のコーディネーター&ストーリーテラー」として、長らく子どもたちとの読書活動をされてこられた佐藤さんの講演会。子どもに本を届けることの意味、障害のある子どもへ読書の楽しさを伝える活動など、実践にもとづくお話です。

【講師】佐藤 涼子さん

品川区の図書館長、児童センター館長を経て大学講師を勤める。各地で図書館活動や子どもたちへの読書活動についての講演や実践を行う。編著書に『児童サービス論』(教育史料出版会)。翻訳書に『火曜日のごちそうはひきがえる』(評論社)他。



トークセッション 「語る、つながる ~読書の楽しみ~」

地下ホール 14:15~15:15

横浜市内の4つの読書の活動について、きっかけや楽しさなどを存分に語っていただきます。

「パネラー」

「ほどがや えかたりーべ」代表

篠崎 顕一さん

「一箱古本市」店主

堀越 菜穂子さん

「横浜読書会KURI BOOKS」主宰

佐藤 久理さん

「なか区ブックフェスタ」実行委員長

宇都宮 日美さん

当日参加の
プログラムも
あります



- 市営地下鉄「南1番出口」 徒歩10分
- JR桜木町駅「南改札下車」 徒歩10分
- 市営バス停「中央図書館」 徒歩1分(89系統)
- 京浜急行線日ノ出町駅 徒歩5分
- 市営バス停「野毛坂」 徒歩1分(103、292系統)
- ※公共交通機関をご利用下さい

毎月23日は「市民読書の日」
毎年11月は「市民の読書活動推進月間」

【主催】横浜市教育委員会

【問合せ先】 横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課
TEL:045-671-3283 / FAX:045-224-5863

http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakusyu/shimindokusho/

横浜市民の読書活動推進 検索



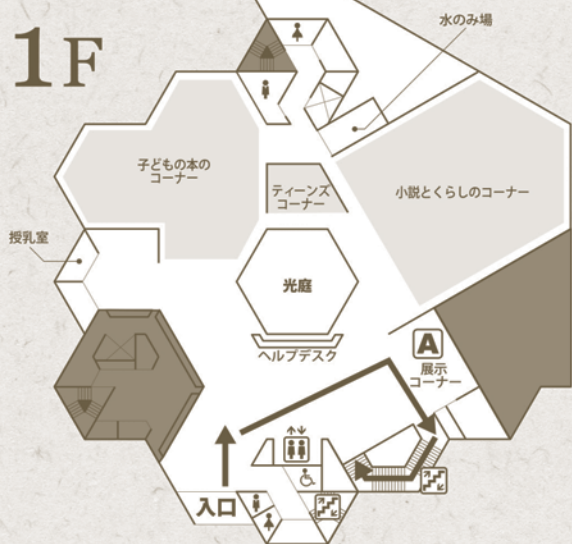
読書フォーラムのほか各区の
読書イベントを紹介しています

平成29年度子供の読書活動の推進
「読書コミュニティ拠点形成支援」(文部科学省委託事業)



リサイクル適性(A)
この印刷物、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

1F



B1



C B1 地下ホール

講座

午前

【学校図書館向け講座】 10:00~11:30

「科学読み物を子どもたちに！」

- ① 学校・地域で活動するボランティア・学校司書の方ほか
 - ② 事前申込先着150名(空きがあれば当日参加可)
- 子どもたちに、科学の本も紹介したい！
そんなときどんな本を選んだらよいのでしょうか。
科学の本の魅力と子どもへの紹介の仕方をお話します。

科学読物研究会 金澤 磨樹子さん



申込方法 10月11日(水) 9:00から【先着順】

横浜市ホームページ簡易申請システムで受付開始

- ※1回の申請で、お1人1プログラムずつお受けします。
- ※複数のプログラムへ参加を希望する場合には、再度申請してください。
- ※手話通訳または筆記通訳(ノートテイク)を希望の方は申請時にお申込みください。

事前申込に関する問合せ先:教育委員会事務局生涯学習文化財課

TEL 045-671-3283

(受付時間:月~金曜日の8:45~17:15※祝日を除く)



▲スマートフォン用



▲携帯電話用

時間..... 定員・対象..... 事前申込.....

A 1F 展示コーナー

展示

【学校司書活動・横浜市の読書活動推進事業の紹介】

9:30~17:00

学校司書の活動や横浜市の読書活動の取組をパネルで紹介します。

B B1 地下ホール ホワイエ

展示

【読書活動の紹介】 9:30~17:00

地域の読書活動を、各区のイベントや団体のチラシなどで紹介します。

体験会とワークショップ 15:30~16:45

【横浜読書会 KURIBOOKS】 事前申込先着10名(見学は自由) お題は「つながる」です。

- 参加する方は、お題に合ったおすすめの本をお持ちください。
- 何冊でもお持ちください。もちろん、図書館で借りている本でも構いません。

例えば...

- 3世代につながる中国の歴史を女性目線で描いた自伝的書『ワイルドスワン』
 - 彼女と気持ちがつながった時、永遠の別れがやってきた『君の臍臓を食べたい』(小説)
 - つながってひっぱったら、かぶは抜けるかな?『おおきなかぶ』(絵本)
- などなど。「つながる」本は数多くあります。自由な感性で選んでください。

【一箱古本市】 ① 当日参加

「一箱古本市」店主 堀越 菜穂子さん

一箱の本を前に、本の思い出を語りましょう。活動についてもっと詳しく聞きたい方もお立ち寄りください。

【ワークショップ「本で街をもっと楽しく！」】 ① 当日参加

なか区ブックフェスタ実行委員

本で街が楽しくつながる方法を、参加者で話し合います。

【保土ヶ谷の紙芝居がはじまるよ!!】 ① 当日参加

※ C 地下ホールで行います

「ほどがや えかたりーべ」による保土ヶ谷の民話など、紙芝居の口演(3作程度)と、制作にまつわるエピソードの紹介。

講演会とトークセッション

午後

① 読書活動に関わる方、これから始めようとする方ほか

② 事前申込先着150名(空きがあれば当日参加可)

【基調講演】 13:00~14:00

「子どもたちとの読書活動 ~広く深く長くつなげていくために~」

佐藤 涼子さん

【トークセッション】 14:15~15:15

「語る、つながる ~読書の楽しみ~」

■「ほどがや えかたりーべ」代表 篠崎 顕一さん

保土ヶ谷に伝わる「民話」を掘り起し、オリジナルの紙芝居にして保土ヶ谷区民の方に口演しています。

■「一箱古本市」店主 堀越 菜穂子さん

一箱古本市「BOOK! BOOK! AIZU」に2013年から参加、この古本市が縁で東京の雑司ヶ谷の「猫ノフルホンイチ」にも参加しています。本を対面で紹介(販売)する中での、人と人とのやり取りの面白さが魅力です。

■「横浜読書会 KURIBOOKS」主宰 佐藤 久理さん

本が好きな人たちとおすすめの本を伝え合う場としてスタート。本を通じて気軽に参加できる交流会として横浜市内で読書会を続けています。

■「なか区ブックフェスタ」実行委員長 宇都宮 日美さん

中区では毎年10~11月に、様々な団体が本のイベントを開催しています。本を通じて、地域がつながった事例をご紹介します。

＜一箱古本市とは＞
段ボールひとつ分の思い出のある本を用意し、一日だけの店主になって、お客様と本をきっかけに会話を楽しみます。

毎月23日は「市民読書の日」毎年11月は「市民の読書活動推進月間」